

玄関ドア(DD枠)

組立て説明書

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しく下さい。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けてください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじは、増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落の原因となります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・組立て時に、コーキングシーラーが型材の周りにはみ出すように合わせてください。
 - ・組立てねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■使用ねじ・部品一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
				※枠に取付け 	※本体に取付け
ナベタッピンねじ φ4×55	ナベタッピンねじ φ4×40	下枠アンカー	プッシュボタン	ドアガード受け(枠用) (バインド小ねじ M4×16)	ドアガードアーム(皿小ねじ M4×12) 注1(タッピンねじ 1種 φ4×25)

注1:フラッシュドアへの取付け用

■組立て上のおお願い

●枠の組立ては、必ず指定の組立てねじを指定の本数使用して組立ててください。

■組立て詳細

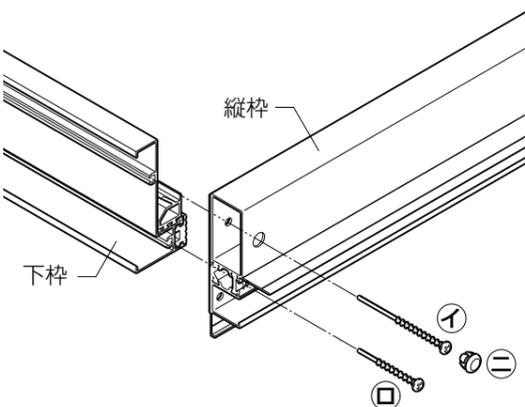
■㊦・㊧ねじの使分け

㊦ねじ…ホロー型材部分に使用します。

㊧ねじ…ソリッド型材部分に使用します。

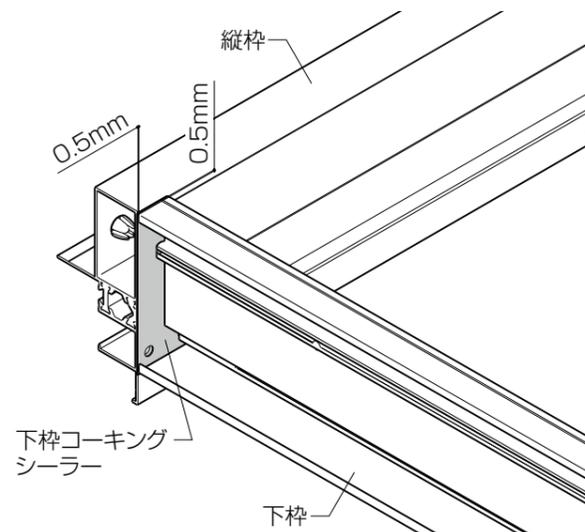
㊩プッシュボタン…ホロー型材の穴ふさぎとして使用します。

(下枠コーキングシーラーの場合)



▲注意

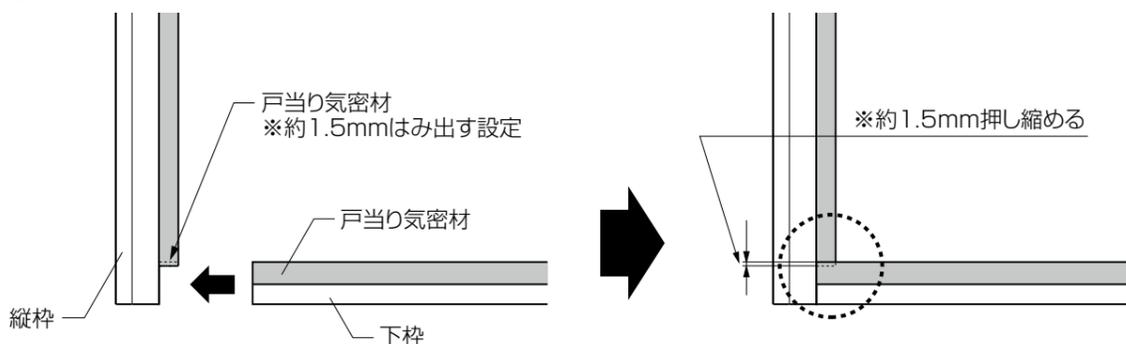
- 漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・組立て時に、コーキングシーラーが型材の周りにはみ出すように合わせてください。
 - ・組立てねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



■戸当り気密材のコーナー部納まりについて

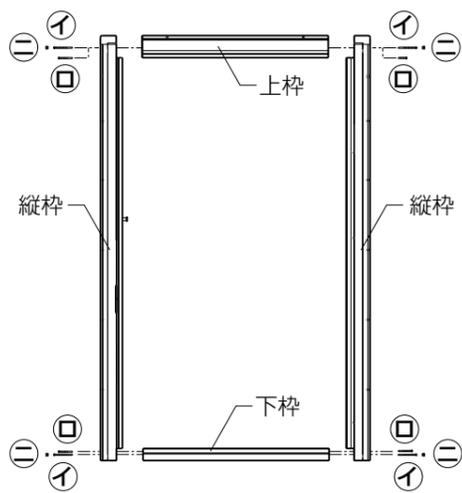
●組立ての際、コーナー部の戸当り気密材が正しく納まっているか確認してください。戸当り気密材は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。

【戸当り気密材(外観図)】



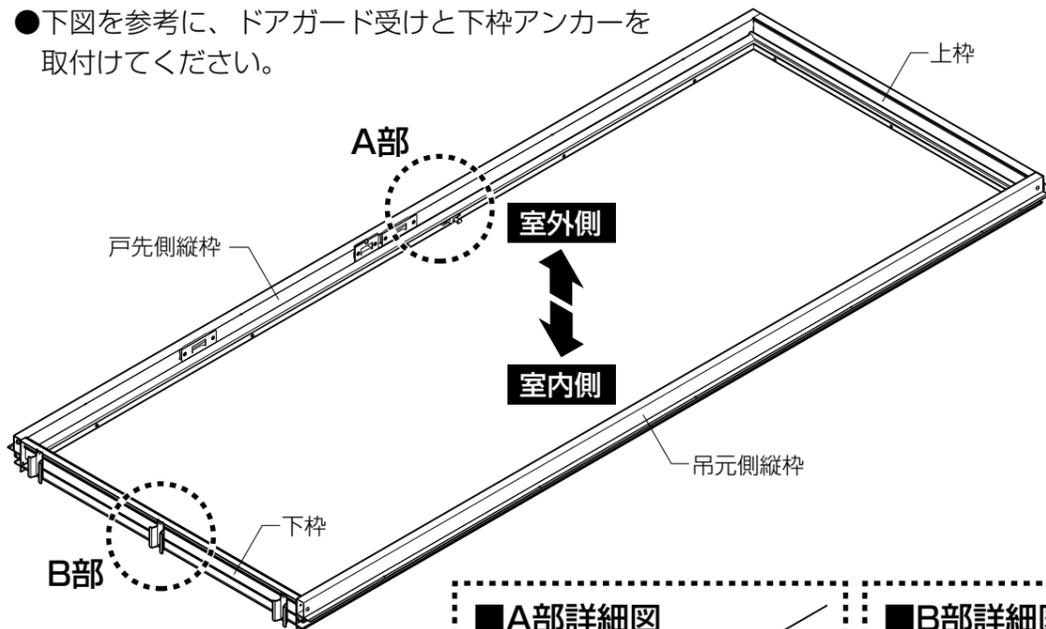
■組立て順序

■片開き



■組立て詳細（部品の取付け）

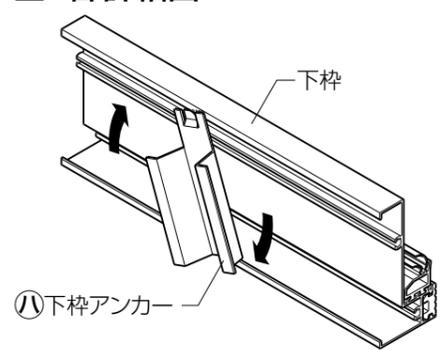
- 下図を参考に、ドアガード受けと下枠アンカーを取付けてください。



■A部詳細図



■B部詳細図

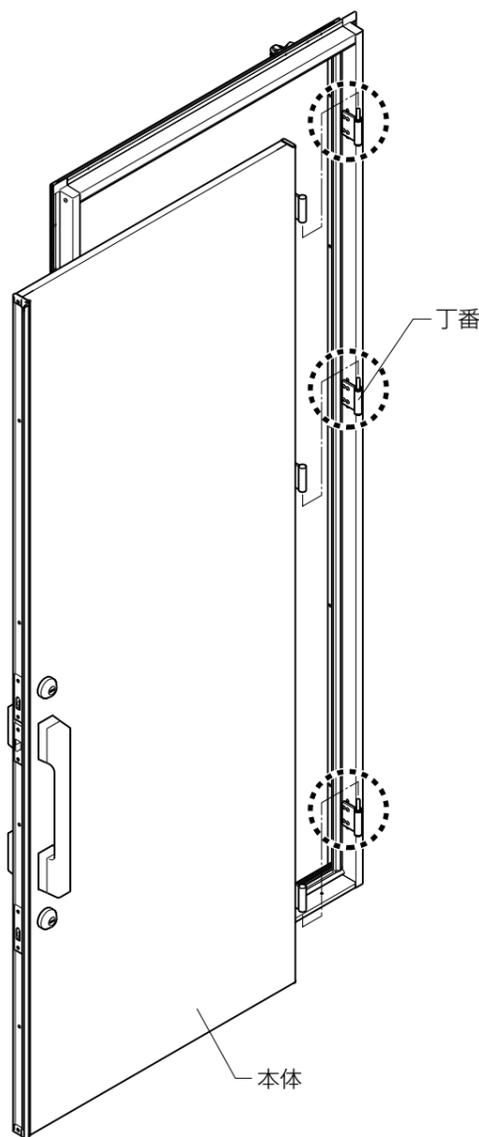


■組立て詳細（丁番の取付けと本体の吊込み）

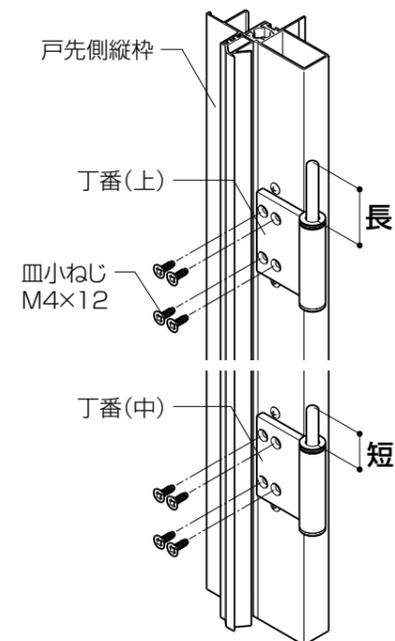
- 丁番は上・中・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は中・下になるように取付けてください。
- ※取付けねじは丁番ねじセットに同梱されています。
- 本体側は、皿小ねじM4×20（長い方のねじ）で取付けてください。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けてください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。
- 丁番取付けねじは、増締めをして締付けてください。（締付けトルクは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })



■上・中部丁番詳細図



■下部丁番詳細図

